

# 放課後等デイサービスガイドライン自己評価表

## 回答率

事業所職員： 6名回答、回答率 100%  
保護者様： 24名回答、回答率 92%

## 職員の意見

### ○環境・体制整備

- ・児童の動線や安全面を意識し、机やロッカーの配置をおこなっている。
- ・教室の構造上、個別の部屋や場所を設定することは難しいが、クールダウンなどで必要が生じた場合は、パーテーションを用いて空間を区切るなどの工夫をして対応している。
- ・毎日の清掃や消毒、破損部分の修繕などをこまめにおこない、教室の環境整備に努めている。

### ○業務改善

- ・毎日のミーティングを通じて、業務の見直しや職員間の情報交換を欠かさずおこなっている。
- ・定期的なeラーニングの受講や、必要に応じた社内研修、外部研修を受講している。

### ○適切な支援の提供

- ・集団活動においては、5領域を踏まえたバランスのよい療育の実施に努めている。
- ・個別支援計画に基づく支援の提供に向けて、毎日のミーティングや策定会議などを実施することで、支援に関わる全職員の支援の方向性の統一を図るようにしている。また、支援後の振り返りをおこない、質の高い支援の提供に向けた支援改善につなげている。
- ・「人間関係・社会性」の育成を目的とした療育として、小集団での専門的支援を実施している。

### ○関係機関や保護者との連携

- ・送迎時のやりとりや電話、メール連絡などを通じて保護者との情報共有をおこなっている。
- ・学校での引き渡しの際には、先生方から、児童の様子や行事予定などに関する情報を共有していただくようにしている。必要に応じて電話連絡による情報共有もおこなっている。

### ○保護者への説明責任等

- ・必要に応じて家族支援を実施し、保護者との面談や相談の機会を設けている。また、年2回の保護者会の開催を通じて、教室内での支援の様子を実際に見ていただく機会を提供したり、保護者同士の交流の機会を設けたりするようにしている。
- ・個人情報の使用については、重要書類を扱う際に職員複数名で声掛けを行って確認し、気を付けている。

### ○非常時等の対応

- ・安全計画に基づき、地震、火災、水害などを想定した避難訓練を毎月実施している。
- ・社内研修や訓練などを通じて、緊急時の連携の取り方や動きの確認をおこなうなど、職員の安全意識の向上に努めている。

## 保護者様のご意見

### ○環境・体制整備

- ・環境整備については「清潔に管理されているようではあるが、設備の古さは否めない。」とのご意見もいただいたため、引き続き、教室内の清掃や破損箇所の修繕に努めていく必要がある。
- ・職員の配置数に関して「職員の方が今どのくらいいるか、よくわからない」とのご意見があった。教室  
内職員の周知方法について検討していきたい。

### ○適切な支援の提供

- ・「こどものことを十分理解し、こどもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、放課後等  
デイサービス計画が作成されているか」「放課後等デイサービス計画に沿った支援が行われているか」  
という質問に対しては90%以上のご家庭から「はい」とご回答いただいた。

### ○保護者への説明等

- ・「こどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされているか」との質問に対しては  
90%以上のご家庭から「はい」とご回答をいただいているが、「子どもの様子についての共有が漏れて  
いたことがあったので、改善してほしい」とのご意見もいただいた。保護者の方への情報伝達は、今後  
より細かい部分まで共有をおこない、漏れのないようにする必要がある。

### ○非常時等の対応

- ・「必要な訓練が行われているか」との質問に対しては「はい」とご回答いただいたご家庭が100%で  
あったが、緊急時対応マニュアルなどの周知、説明に関しては3件ほど「わからない」とのご回答をいた  
だいた。マニュアルや安全計画の周知方法については改めて検討する必要がある。

### ○満足度

- ・通所に対する満足度の質問に関しては「毎回とても楽しみにしているので、通所回数が増えるとい  
い  
な  
と思  
って  
いる」  
な  
ど  
の  
ご  
意  
見  
を  
い  
た  
だ  
い  
た。

## 昨年度の振り返り

### ○今年度の取り組む具体策

- ・集団活動の時間が多く確保できる土曜日や長期休暇の時間を活用し、保護者参加の療育プログラ  
ム  
の  
活  
動  
を  
実  
施  
す  
る。
- ・毎月の避難訓練では防災の知識が深まり、実際の有事に役立つものを意識して実施していく。
- ・療育活動の様子をタイムリーにブログやニュースレターで各ご家庭にお知らせしていく。

### ○改善できた点・まだ残る課題

- ・今年度は保護者会の実施を通じて、親子で一緒に制作に取り組む保護者参加型の療育プログラ  
ム  
を  
実  
施  
す  
る  
こ  
と  
が  
で  
き  
た。
- ・避難訓練においては、さまざまな非常時を想定したうえで訓練を実施することができた。
- ・ニュースレターでは定期的に教室の様子をお伝えする欄を設けることができた。ブログの実施には  
至  
ら  
な  
か  
つ  
た  
た  
め  
、  
職  
員  
の  
業  
務  
分  
担  
も  
含  
め  
、  
取  
り  
組  
み  
の  
検  
討  
を  
お  
こ  
な  
つ  
て  
い  
く。

## アンケート結果からみる教室の強み・改善点

### ○教室の強み

- ・集団活動については、児童が興味関心を持てる内容であることを意識しつつ、5領域をバランスよく取り入れ、療育としてもねらいを持った活動を実施することができている。教室内職員でのミーティングによる内容検討も十分におこなっており、保護者からも評価をいただいている。
- ・送迎時や電話、メール連絡などを通じて、児童の様子や支援内容について丁寧に情報共有をおこなうようにしている。保護者からの相談についても、必要に応じて面談などの時間を設け、気持ちに寄り添いながら対応することができている。

### ○改善点

- ・非常時の対応に関して、安全計画や緊急時のマニュアルの内容周知はおこなっているが、内容についての理解は職員、保護者共に「わからない」などの意見も挙がっており十分ではない。職員や保護者への周知をおこない、共通認識を持つことができるよう努めていく必要がある。
- ・ご家庭によっては保護者とやりとりできる機会が少なく、情報共有が十分でないことがある。教室としての支援や取り組みについて、保護者会や面談などの機会を通じて一層丁寧にお伝えしていく必要がある。併せて保護者やきょうだい向けの情報共有の機会を提供することも必要である。

## 中長期的な改善計画・1年間で取り組む具体策

### ○中長期的な改善計画

- ・非常時に備えた緊急時対応マニュアルについて、毎月教室で取り組んでいる避難訓練の実施内容や安全計画、各種マニュアルの内容について保護者の方へ周知をおこなう。
- ・保護者同士やきょうだい同士の交流の機会を設け、家族向けの支援の充実を図る。

### ○1年間で取り組む具体策

- ・年度の初めに1年間の安全計画の配布をおこなうと共に、各ご家庭への説明をおこなう。毎月の避難訓練では自然災害、感染症、不審者などのさまざまな非常時を想定した訓練に取り組み、実施内容については当日の送迎時や保護者会などの機会に保護者への周知に努める。併せて緊急時の対応マニュアルについても教室の取り組みの一環として紹介する。
- ・年に2回の保護者会を企画、実施する。その中で保護者やきょうだいに参加できるイベントや交流企画を立案し、家族向けの支援拡大を検討していく。